

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 2 月 28 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	理工学研究科
留学(渡航)した時の学年	2 年生
帰国年月日	2025 年 1 月 31 日
明治大学卒業予定年月	2025 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	韓国
留学先大学	梨花女子大学校(日本語名) 이화여자대학교(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	韓国語/ 韓国語
留学期間	2024 年 3 月～2025 年 1 月
留学先大学で在籍した学年	2 年生
留学先の所属学部等	☒ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 舞踊科 現地言語での名称: 무용과 ☐ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☐ 公立 ☒ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 3 月上旬～ 6 月下旬 2 学期: 9 月上旬～12 月下旬 3 学期: 4 学期:
学生数	約 2 万人
創立年	1886

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ウォン)	日本円	備考
授業料	0	円	明治大学において学費納付
宿舍費	4400000	円	
食費	5500000	円	
図書費	200000	円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	300000	円	
現地交通費	0	円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	200000	円	
被服費	600000	円	
医療費	100000	円	
保険費		25 万円	形態：大学指定の海外旅行保険に加入 (必須)
渡航旅費	2000000	円	一時帰国も含む
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	11,500,000	25 万円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地：成田	目的地：釜山 経由地：
復路 出発地：釜山	目的地：成田 経由地：
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社：大韓航空 料金：2000000 ウォン ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社： 料金： 復路 航空会社： 料金： ∴合計：	
航空券購入方法	
☐ 旅行代理店(店名：) ☒ インターネット(サイト名：) ☐ その他()	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)	
☒ 学生寮(寮の名前：) ☒ アパート ☐ ホームステイ	
2) 部屋の形態	
☒ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 1 人)	
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	
4) 住居を探した方法：	
大学からの案内、ネット	
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
大学寮は一人部屋が少なく、相部屋の場合、万が一ルームメイトとの衝突が起きても基本的に大学寮行政室側は助けてくれないのでお勧めしません。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: 大学内診療所、案内を受けた現地病院)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☐ なし

☒ あり (問題の内容や相談した人等: 留学先大学の教授や現地の友人)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

留学生から聞いたり SNS を通して。

滞在中にカードの不正利用があったが、カードを再発行した。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の Wi-Fi 接続に問題があったことをアナウンスで聞いたことがある。大学の教室によって繋がらない場合もあったが、カフェなどではほぼ問題がない。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

ほぼクレジットカードを使用。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24 単位		☒ 8 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
무용미학연구		舞踊美学
科目設置学部・研究科	舞踊科	
履修期間	15 週	
単位数	3	
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 1 回	
担当教授	Jeong Okhee	
授業内容	この授業は、美学と芸術哲学の基礎概念と流れを包括的に理解した後、舞踊学で重要に扱われる美学論題を集中的に分析することを目標とする。	
試験・課題等	毎週関連論文を読み、それに対する要約、批評と発表。	
感想を自由記入	美学の発生から舞踊に特化した知識を深めることができとても面白かった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
무용인류학연구		舞踊人類学
科目設置学部・研究科	舞踊科	
履修期間	15 週	
単位数	3	
本学での単位認定状況	4 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 150 分が 1 回	
担当教授	Lee Namyoung	
授業内容	踊りに内包されている構造と思想、文化的特徴、美的特性など、様々な視点で踊りの文脈を理解して研究する。	
試験・課題等	中間・期末考査とともに課題論文の提出。	
感想を自由記入	とても充実した講義内容とともに、中間・期末試験としての課題論文作成に大変苦労したが、とても身になった授業である。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☐就職 ☐進学 ☒未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ~ 3 月	
	4 月 ~ 7 月	出願、選考
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	滞在先確保
留学開始年	1 月 ~ 3 月	航空券購入
	4 月 ~ 7 月	中間、期末試験
	8 月 ~ 9 月	航空券購入
	10 月 ~ 12 月	中間、期末試験
留学/帰国年	1 月 ~ 3 月	帰国
	4 月 ~ 7 月	
	8 月 ~ 9 月	
	10 月 ~ 12 月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

梨花女子大学校は、学部時代に訪れ学んだことがある場所であり、大学院に進学して再び訪れることになり大変感慨深かったです。ホームに帰ってきたようなとても安心感のある学校です。学部時代には、韓国語が日常会話ほどで学問的な水準ではなかったため英語の授業を選択していましたが、今回はすべて韓国語での授業のみを履修し、自分自身の語学的成長だけでなく、今度は学部時代にできなかった、梨花でしかできない舞踊のより専門的な研究を行うことができ大変良かったなと振り返ります。

韓国語と日本語は、とても似ているからこそ韓国語を習得するのは難しい部分があるかもしれませんが、自分にとってあたらしいことばを憶えることは、身を置く世界を豊かにすることだと思うので、ぜひめげずにそれぞれの歩幅でゆつくりと学んでみてほしいです。わたしも、今回の留学を通してもっと学びたいことが増えていますので、今後ものんびりさらにがんばりたいと思います。ありがとうございました。